

第26期・第7回

環境学委員会・健康・生活科学委員会合同環境リスク分科会 議事要旨

日時：令和7年9月8日（月）10：00～12：00

会場：日本学術会議6-C(1)及びオンライン（ハイブリッド開催）

出席者：小椋 康光、小野 恭子、鹿嶋 小緒里、近藤 智恵子、茶山 一彰、中村 桂子、野原 恵子、
橋爪 真弘、藤井 健吉、渡辺 知保

（オンライン）秋葉 澄伯、浅見 真理、上田 佳代、春日 文子、森山 美知子、

欠席者：石塚 真由美、大塚 直、小熊 久美子、

参考人：中山 祥嗣

議題等

（1）第6回議事要旨の確認

- ・特に意見はなく、承認された。

（2）化学物質の生涯曝露や複合影響の評価方法に関する勉強会

話題提供 1：中山祥嗣先生（国立環境研究所）

- ・「化学物質の生涯曝露、複合曝露の影響」について講義の後、質疑応答がなされた。

話題提供 2：渡辺知保先生（長崎大学・日本学術会議連携会員）

- ・「EXPOSOME と新たな化学物質のリスク評価の捉え方」について講義の後、質疑応答がなされた。

質疑応答（要点）

- ・Exposome を用いた環境影響の経済評価の不確実性について
- ・Exposome 研究の社会実装の方向性について
- ・Exposome の実現条件について

（3）意思の表出について

- ・関連する委員会・分科会の整理
- ・今後のスケジュール：2026年3月までに公表
- ・修正骨子案の紹介と執筆候補者の確認

(4) 学術フォーラム・シンポジウムについて

- ・令和7年12月18日(木)学術フォーラム「環境化学物質の健康影響、その理解と健康をまもる生活環境の維持に向けて: 1. 環境化学物質の健康影響とは」
- ・令和7年11月1日(土)日本国際保健医療学会合同特別市民公開シンポジウム「プラネタリーヘルスの視点で捉える気候変動と災害: コミュニティの役割と挑戦」
- ・2026年3月19日(木)~21日(土)第96回日本衛生学会学術総会にて公開シンポジウム「環境化学物質の健康影響2. 曝露測定-何をどのように測定するか」を開催することについて承認し、準備を行うこととした。

(5) その他

- ・「第3回環境化学物質の健康影響に関する公開シンポジウム(学術フォーラム)」開催の可能性について意見交換。

今後の予定

- ・次回: 令和7年12月18日(木)午前(予定)。
- ・必要に応じ、同日以前に、意思の表出に関するオンライン会合を開催する可能性あり。

(以上)